

科目責任者 川北 晃司(倫理学研究室)

### ■教育目的

社会学、心理学、倫理学、社会薬学、薬害・医療安全、周産期・新生児医療、薬局・病院経営への貢献、医師・歯科医師との連携など、幅広いテーマを扱うことで、現代社会における医療者に必要な問題意識・思考力を涵養する。【卒業認定・学位授与の方針：YD-①～⑥】

### ■学習到達目標

1. 医療者に必要・有用と思われる、人文・社会科学系を含む素養・思考法を身につける(知識)
2. 現代医療における諸問題を把握、問題意識を持ち、自ら考える力を伸ばす(知識、技能、態度)

### ■準備学習（予習・復習）

予習：日頃から医療に関するニュースに関心を持ち、情報収集に努める。(30分)

復習：各講師の指示による。(指定 HP の参照など、30分以上)

### ■授業形態

講義

### ■授業内容

授業内容は人文社会科学の枠にとらわれずに、多様な講師から医療安全や医療者としての心得などを学び、学生は毎回レポートを提出する。

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	導入 倫理学(1)	本授業概要・注意事項説明等 倫理社会関連事例考察	A(1)-①-1～7
2	心理学	社会環境と睡眠の問題：医療従事者としての必要知識	A(5)-①-1
3	社会薬学	臨床研究(治験)	B(2)-②-3
4	倫理学(2)	倫理社会関連事例考察	A(1)-①-1～7
5	病院薬学	病院とその経営における薬剤師の役割	A(1)-②-1～3
6	小児医療品評価学	妊婦授乳婦と薬物療法	A(1)-③-1
7	倫理学(3)	倫理社会関連事例考察	A(1)-①-1～7
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			

### ■授業分担者

川北 晃司(No.1,4,7)、駒田 陽子(No.2)、廣瀬 誠(No.3)、松本 邦洋(No.5)、石川 洋一(No.6)。ただし分担者の担当順、及び授業内容は変更する場合がある。

### ■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題のフィードバック：講義や課題レポートに関する質問等を個別に受け付け、解説・説明をする。

成績評価方法：各回の課題レポート提出分を合計評価する(レポート 100%)。

### ■教科書

教科書は使用しない。講師によりレジュメが提供される場合がある。

### ■参考書

小松楠緒子・川北晃司編著『くすりと社会』北樹出版(2014年)

豊田郁子『増補新版 うそをつかない医療』亜紀書房(2016年)

### ■その他

授業は5月～6月の金曜午後に実施予定。詳細は4月以後にメール等でお知らせします。